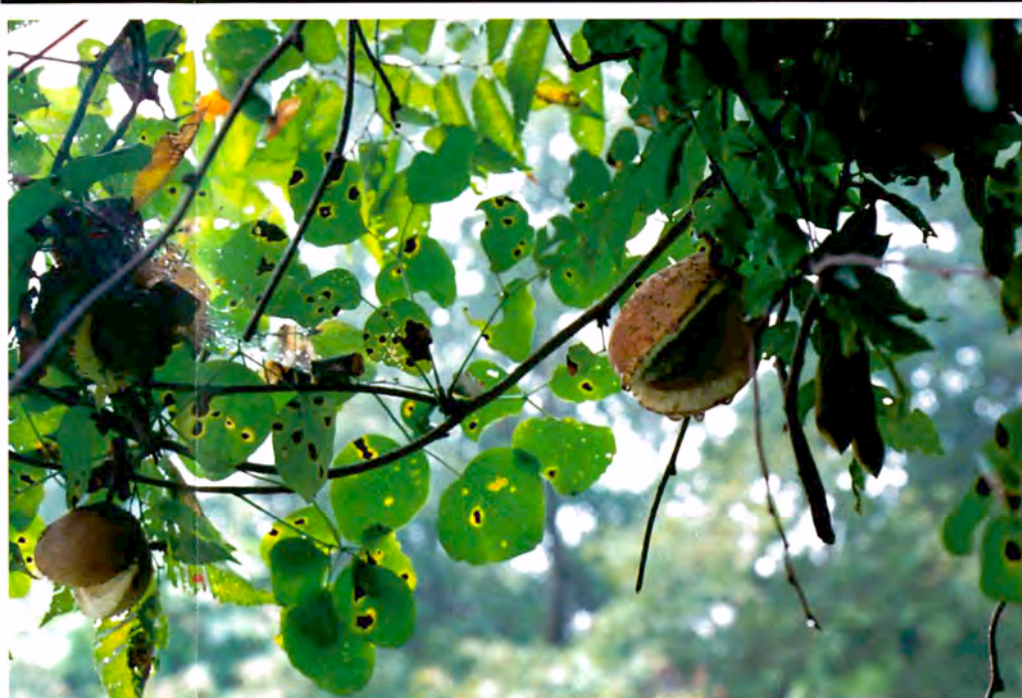


# こどもの城 ニュース

1999.12.15 NO.101 発行/〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5666  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



## アケビ

アケビは、種だらけの綿のような果肉をほおぼると、とっても甘い味がします。でも、皮をかじると、口が曲がるほどの渋さです。  
この実の中身を抜いて、みそで味をつけたひき肉をつめ、油であげたものは山形地方の名物料理です。  
つるはとてもしょうぶで、かごを編むこともできます。クリスマスのリース作りには最適の材料です。  
花は4月ごろで、むらさき色の目立たない花をたくさんつけます。  
(こどもの国=横浜)

# こんにちは 2000年

ミレニアム

1999年もあとわずか、2000年という大きな区切りの年を迎えようとしています。1900年からの100年間は、科学や文化などいろいろなものが、それ以前とは比べものにならないほどの早さで変化しました。その変化は、良いものも悪いものも、すべて私たち“人間”が作りだしてきたのです。

私たち“人間”は、これからもよりよい生活をめざして知恵をしぼっていくはずで、その主役となるのは、常に若い人——つまり、無限の可能性をもった子どもたちです。〔こどもの城〕は、未来を担う子どもたちの力を信じ、その力をはぐくむために、〈あそび〉をとおしてお手伝いしたいと、さまざまな活動を行っています。

冬休み特別期間(12月25日～1月10日)にも、〈あそび〉をとおして出会い・発見、そして人と人との交流を深めるプログラムなどを用意しました。

# 作って、あげて「凧」

冬休み特別期間のプログラムに、凧(たこ)に関するものが3つあります。1つは各地の凧の展示、1つは凧作りのワークショップ、1つは作った凧をあげるプログラムです。

地方色豊かな凧は、民芸品として装飾に使われたりしますが、風を受けて空高く舞い上がってこそ、凧本来の楽しさを味わうことができます。

コンピュータゲームなど、新しい〈あそび〉はたくさんあります。しかし、〈あそび〉の道具を自分で作る楽しみ(凧作り)、それを使って遊ぶ楽しみ(凧あげ)——というように、1つのものをとおしているいろいろな形の〈あそび〉を体験する機会は、少なくなってきたような気がします。

凧に関する3つのプログラムで、“作る——遊ぶ”手作りの〈あそび〉を体験することができます。協力は、日本の凧の会。



## 凧づくりのワークショップ

えい凧 (12月23～26・28日、1月3～10日 アトリウムギャラリー)

「2000年の空に舞い上がれ日本の凧」の展示会場で行うワークショップ。小さい子にも作れ、よくあがる「えい凧」を作ります。材料費400円、受付は5時まで。

角凧 (1月6・7日、1時、定員15人、フリーホール)

だれもが思い浮かべる凧といえば、「龍」の字が描いてある四角い凧。「角凧」とよばれているものです。50cm×70cmの大きさの「角凧」を作ります。

ひこうき凧

(1月8・9日、1時、定員15人、フリーホール)

飛行機の形をした創作凧。こんな形をしていて、あがるのかなと思う人もいるかもしれませんが、もちろんよくあがります。

※「角凧」「ひこうき凧」は定員制。先着順に電話で申し込み受け付け中【☎03-3797-5665】。対象は、小学校4年生以上(または、親子ペア)。材料費は、角凧=1,000円、ひこうき凧=1,200円。

## 2000年の空に舞い上がれ日本の凧

(12月23～26・28日、1月3～10日 アトリウムギャラリー)

いさましい絵がらの津軽凧、東海地方のけんか凧など、地方色豊かな日本各地の凧を展示します。呼び名も、「いか」「いかのぼり」「はた」「たこぼた」など、地方によって異なります。



「角凧」作りのワークショップ

## 凧あげ大会

(1月10日 こどもの国・横浜市)

凧あげには、ちょっとした“こつ”が必要です。日本の凧の会の凧あげ名人の指導で、〔こどもの城〕のワークショップで作った「えい凧」「角凧」「ひこうき凧」をあげます。作るだけではなく、作ったもので遊ぶプログラムです。

プログラムの詳細は、ワークショップに参加したときに、おたずねください。



左から、「鬼ようす」(山口県)、「津軽凧」(青森県)、「女べらぼう」(秋田県)



わくわくカレンダー☆2000



昔遊びの“三つ馬”

## 1999→2000 (こどもの城) の冬休み特別期間

12月25日～1月10日

午前10時～午後5時30分(1月3日は午後0時30分開館)

※休館日=12月27・29日～1月2日、1月11～13日

みんなのからだは芸術品! 第3弾「汗」力をこめて2000年(期間中毎日、体育室) わくわくカレンダー☆2000(期間中毎日、パソコンルーム) ほか

### 【お正月】

新春あそびのお年玉～みんなであそぼうお正月(1月3～10日、屋上遊園・Bスタジオ)

こども歳時記「お正月」(12月26日～1月16日、造形スタジオ)

へんしん大飯店(1月3～10日、音楽ロビー) ほか

### 【クリスマス】

こども歳時記「クリスマス」(12月7～25日、造形スタジオ)

クリスマス人形劇フェア(12月18・19日、フリーホール)

わいわいスタジオ「どうようコンサート～うたおうクリスマス」

(12月23日、Bスタジオ) ほか

1999→2000冬休み特別期間  
12月25日(土)～1月10日(月・祝)

開館時間◎10:00～5:30

(1月3日は12:30～、入館は5:00まで)

休館日◎12月27・29日～1月2日・11～13日

入館料◎こども400円(3歳以上18歳未満)

おとな500円

※特別期間を除く土・日曜は10:00開館

火～金曜は12:30開館、月曜休館。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

☎03-3797-5666 ☎03-3797-5676

http://www.kodomonosiro.or.jp/

**今年もお世話になり、ありがとうございました。**  
**2000年もよろしくおねがいいたします。**  
 今年1年、さまざまな形で「こどもの城」の活動を支えてくださったみなさまに、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。  
 なお、勝手ながら新年のご挨拶状を省かせてい

ただきます。悪しからずご了承ください。  
 最後になりましたが、皆さまのいっそうのご活躍、ご発展をお祈りするとともに、「こどもの城」へのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
 平成11年12月 (動児育成協会 こどもの城)

**「ユースクラブ」の「鬼プロジェクト」**

**知恵をしぼって、新しい遊びを考える**

「こどもの城」には、さまざまな講座・クラブがあります。その一つ「ユースクラブ」(小学校5年生～中学校3年生を対象とした「遊び」のクラブ)の子どもたちが、「オリジナルの「鬼ごっこ」を考える」をテーマにした活動を行いました。  
 3班に分かれて、まずは話し合い。1時間かけて、遊びの名前やルールなどを考えました。その結果、各班から出されたプランは「ループOH～NI」「一方通行おにごっこ」「マトリックス」。遊び方を説明したのち、外に出て全員で3種類の鬼ごっこを体験することにしました。  
 「ループOH～NI」は、手つなぎ鬼の変形。最初の鬼は2人。両手をつ

それに触ったら5秒間動けなくなり、相手チームの鬼にタッチされたらアウト。多く残っているチームが勝ち。  
 3つの鬼ごっこを体験した後に、みんなで感想を述べました。場所を工夫したほうがよい。ルールをもっと単純にしたほうがよい——などさまざまな意見があり、今後さらに工夫を重ねていくことにしました。



説明を聞きながら「マトリックス」をみんなで体験



**2000年へカウントダウン**

2000年へのカウントダウンをする「デジタル式」巨大カレンダーが、プレイホールの壁に出現しました。「キッズクラブ」のメンバーが作ったもので、A4サイズのパネルを縦8枚、横11枚つないであります。メンバーは交代で、毎日夕方、黒い紙で覆う部分を直していきます。文字の形は「デジタル式」ですが、メンテナンスは「アナログ」です。

**「色あそび」や「コラージュ(はり絵)あそび」のワークショップ**

子どもたちはもちろん、大人からも愛されている絵本「はらべこあおむし」。出版されてから30年がたちます。  
 このたび、作者のエリック・カールさん(写真)が来日することになり、1月30日に「こどもの城」で、小学生を対象に「色であそぼう 紙であそぼう」のエリック・カールさんと「こどもの城」が開かれることになりました。



■対象=小学校1～6年生(50人。はがきによる抽選)  
 ■申し込み方法=往復はがきに、参加希望のお子さんの名前(ふりがな)／年齢／学年／性別／住所(郵便番号)／電話番号／保護者名／エリック・カールさんの絵本をいばん好きな本の題名——を記入のうえ【〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城企画研修部「色であそぼう」係】へ。返信用はがきには、ご住所・お名前をご記入ください。  
 ■締め切り=12月末日消印有効。  
 ■お問い合わせなどは、企画研修部【☎03-3797-5665】へ。

**韓国からの作品も展示し「おりがみカーニバル」終わる**

11月11日の「おりがみの日」の前後に、「こどもの城」で開かれている「おりがみカーニバル」が、今年も10月30日から11月14日まで、アトリウムギャラリーで開催されました。  
 今回の展示テーマの一つは、「ことばで遊ぶおりがみ」。「あたま隠してしり隠さず」など、だれもが知っていることわざや格言をさまざまな折り紙を組み合わせて、大きなパネルに飾りつけたものが展示されました。  
 韓国の折紙協会の会員が制作した韓国のことわざ・格言——「くじらの韓国のことわざ・格言の意味」「くじら——」は力の強いもの同士がけんかをするのはかたが、めいわくするのは小さいもの。「ねこ——」は適材適所。ねこに魚屋の番をさせるほうが悪い。「にわとり——」は自分の手の届かないところへ行ってしまうば、どうしようもない。

**2月5日にギャラリーほかで「ファミリーフェア～保育クラブ祭り」**

「親」と「保育者」が一緒になって企画・運営する「ファミリーフェア～保育クラブ祭り」が2月5日に、アトリウムギャラリーと保育室で開催されます。ファミリーマーケット(バザー)、絵日記遊び、親子で楽しむワークショップのコーナー、保育クラブ会員が撮影した「子ども」の写真展などが予定されています。

指導のもとで、実際に折り紙を折りながら、指導の方法、遊び方、応用の方法などを学びました。

**「造形スタジオ展」で活動を紹介します**

「第14回造形スタジオ展」が10月28日～11月28日に造形スタジオで開催されました。「やってみよう! つくってみよう! 竹づくし」「素材との出会い展～竹と造形」「子どもの歳時記」(お正月・節分・ひなまつり・七夕)など、昨年11月から今年10月までのプログラムやワークショップを作品や写真、映像などで紹介しました。

**青山劇場**

●LA STRADA III「HISTORY」谷村新司  
 12月4日～19日▽サウンドトラック  
 10,000円、バルコニーシート=8,000円  
 ●アニークリスマスコンサート～アニークリスマスにやってくる～  
 12月22・23日▽S席=5,000円、A席=4,800円▽出演=平野忠彦、ヒロコ・グレース、1999年&2000年アニーズ、アニーズO.G.ほか  
 ●CHRISTMAS SPECIAL 99  
 MAMA, I WANT TO SING  
 ...SINGING CONCERT...  
 12月24～26日▽7,500円▽出演=VY HIGGINSEN, RICHARD HARTLEY, PIERRE COOKほか

**青山円形劇場**

●KOREA SUPER EXPO プレイベント「NANTA」～COOKIN' BEATS～  
 12月6日～16日▽S席=8,000円、A席=7,000円  
 ●「藤田行進曲」  
 12月4～20日▽S席=8,000円、A席=6,000円▽作・演出=つかこうへい▽出演=錦織一清、草剛、小西真奈美、春田純一  
 ●「ア・ラ・カルト～役者と音楽家のいるレストラン」  
 12月19～26日▽5,500円(全席指定)▽出演=高泉淳子、白井晃、陰山泰、中西俊博(バイオリン)、細野義彦(ギター)、北島直樹(ピアノ)、クリス・シルバースタイン(ベース)  
 ●第12回こどもの城キリン・ファミリーオペレッタ「まんぷく村のハムスター キックイベツトになりたいカラスのお話」  
 12月3～9日▽2,800円(全席自由・定員制)▽脚本=山下哲▽演出=高谷静治▽出演=こどもの城児童合唱団、平多正、早川恵美子、博子バレエスタジオ、オペラクリエーション・イン・青山  
 ●日本音楽集団 第158回定期演奏会「RI・TSU・DO Drumming from Japan to Africa」  
 12月22日▽4,000円(全席自由)  
 ●上田通ダンスリサイタル「タンゴ・タンゴ・タンゴ」原っぱ物語4～底ぬけて背身にしるからっ風ボチ孤軍奮闘篇～

**秋田県児童館会館+秋田県立子ども博物館 地域に根づいた事業を活発に展開 移動児童館「わんぱくランド号」で県内巡回**

「秋田県児童館会館」は秋田市の中心部にあります。このあたりは、県立の体育館や図書館、文化会館、生涯学習センターなどの文化施設がたくさんあります。  
 市の中心部にあるので、まわりに子どもがたくさん住んでいるわけはありませんが、平日は小さな子ども連れのお母さんや遠足・校外学習などで来館する子どもたち、そして週末は郊外からやって来る家族連れでにぎわっています。



地元の中学生を招いて、イベントを開催

会館が作られたのは昭和25年(1950)で、50年にわたる歴史があります。現在の建物は昭和55年(1980)にできました。その時「秋田県立子ども博物館」が併設され、児童館と博物館の両方の機能をあわせもった複合施設になりました。  
 1階から3階が活動スペース。木工室や創作陶芸室、音楽室などがあります。何といてもいちばん大きな施設は、付属の「子ども劇場」。客席数は778席です。  
 2階にある「プラネタリウム」や地球・宇宙・環境をテーマにした「第1展示室」、「科学のおもちゃ箱」と名づけられた「第2展示室」は、さまざまな科学の仕組みを体験とおして知ることが

**ジュニア・ディレクターズ会議の子どもたちが作ったアニメ「どっちにする?」 シカゴ国際児童映画祭でグランプリ受賞**

「こどもの城」が樺通、アニメーション作家の山村浩二さんと提携して実施したワークショップ「ジュニア・ディレクターズ会議」で制作したアニメーション『どっちにする?』(いろいろな動物などのキャラクターが登場し、奇想天外な展開をみせる上映時間10分の短編アニメーション)が、アメリカのシカゴで開かれた「シカゴ国際児童映画祭'99」で、テレビ用などの商業作品を含むノミネート作品のなかから、アニメ部門グランプリに選ばれました。  
 シカゴ国際児童映画祭は、世界最大の子ども映画祭。コンペティションの審査は、映画評論家や監督などの大人と、公募で組織された子どもたちの2つに分かれて行われます。

**第12回こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ まんぷく村のハムスター キックイベツトになりたいカラスのお話 1月3～9日に青山円形劇場**

新年の青山円形劇場は、家族で楽しめる「第12回こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ」で幕が開きます。今回は、「まんぷく村のハムスター キックイベツトシリーズ第4弾「ベツトになりたいカラスのお話」です。  
 チョコちゃんにはジュンくんという優秀なお兄ちゃんがいいます。いつもお兄ちゃんばかりほめられて、チョコちゃんはすっかり自信をなくしています。ある日、ふたりはララというカラスに出会います。  
 チョコちゃんは、ララをベツトにしたいといいますが、お兄ちゃんは「お母さんはカラスが嫌いだからなあ」と困った顔。そんな時、まんぷく村で開かれる音楽会の招待状が届きます。まんぷく村とは、飼主とはぐれてしまったベツトが住む村のこと。この音楽会で、ララがすてきな歌を歌えば、お母さんもカラスを好きになるかも——。ララとふたりは、まんぷく村に向かうのですが——。さて、ふたりはどんな冒険をするようになるのでしょうか?  
 オリジナルの童話を歌やバレエでつづるオペレッタ

「どっちにする?」は、大人の審査員がグランプリに選びました。

【ジュニア・ディレクターズ会議】平成10年8月から翌年2月まで実施した、子どもがディレクターとしての役割を担い、1本のアニメーション作品を制作するワークショップ。樺通とアニメーション作家の山村浩二さんが進めていた「メディアと子どもの関係を考える研究開発事業」と提携して行われました。メンバーは小学校3年生から6年生までの8人。  
 毎月1回程度集まり、山村さんに加わって、ストーリー作り、キャラクター設定、画面構成、音響などを相談して決め、それをもとに山村さんがアニメーターとしての技術を発揮して作品化。作品は2月に完成。「こどもの城」で試写会を開いたほか、東京都写真美術館を借りて一般公開。ワークショップのようすは、ドキュメンタリー作家によって映像記録されていて、テレビ番組として放送も予定されています。

**お知らせ 「こどもの城ニュース」第102号は2月15日発行になります。**

ク。ゆかいなキャラクターたちが繰り広げる夢いっぱいの世界にみなさまをご案内します。出演は、オペラクリエーション・イン・青山、こどもの城児童合唱団ほか。  
 公演日時は、平成12年1月3～9日(午前11時と午後2時30分。3日は午後2時30分のみ)。料金は、2,800円(全席自由、3歳以上均一)。チケットは青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】へ。



「まんぷく村のハムスター キックイベツト」



12・1月の「わいわいスタジオ」ミニ・コンサートやワークショップなど、いろいろな「音楽」を楽しみます。  
 1時30分、3時30分/4階Bスタジオ  
 ●12月23日『どうようコンサート～うたのおくり物』=年末恒例の童謡コンサート。人形の「ジェームズ」も元気にいっぱい大活躍。ピアノ演奏とお姉さんの歌とおはなしでつづります。出演は、ジェームズとなかまたち。  
 ●1月16日『手作り楽器のワークショップ』=フィルムケースを使った、いくつかの音階を出すことができる「ぶた鼻笛」を作ります。  
 1月の「こどもの城映画劇場」  
 1月30日に行われる「色であそぼう 紙であそぼう～「はらべこあむし」のエリック・カールさんと」(別項参照)の関連プログラム。カールさんの絵本をもとにした作品などを上映します。  
 1月30日=Aプログラム:11時30分、1時30分、3時30分/Bプログラム:2時30分/4階Bスタジオ  
 ●Aプログラム 「はらべこあむし」「だんまりおろぎ」「ごちゃまぜカメラレオン」「ババおさまとつて」「うたがみえる きこえるよ」  
 ●Bプログラム 「エリック・カール～絵を書く人」(エリック・カールが絵作りについて語るドキュメント)